



志高く  
心豊かに  
自らを鍛える生徒

# 入間野愛

狭山市立入間野中学校

生徒数 488名

TEL 04-2959-9311

令和5年度 3月号

## 縁を生かし、可能性を広げる

2月上旬のある日の新聞に、ブダペスト2023世界陸上の男子400m予選で32年ぶりとなる日本新記録を更新した所沢市出身の陸上選手(29歳)が、母校である所沢市内の中学校を訪問した話題が掲載されていました。

その選手は、母校の後輩たちに「みなさんは可能性の塊。たくさんのもにに触れ、これから現れるみなさんだけの『特別』を磨いてほしい」とメッセージを送ったそうです。そして、そんな温かなメッセージ以上に私の印象に残ったことがあります。それは、彼が中学時代には野球部に所属し、進学した県立高校では、当初、天文学部に入部したものの、「数合わせで入ってほしい」と友人に陸上部へ誘われたのが陸上との出会いだったというエピソードです。

もし、高校で、その友人に誘ってもらわなければ、日本記録更新の偉業はもちろん、実業団チームの陸上選手としての現在の生活はなかったのかもしれない。人と人のつながり、ご縁の不思議、尊さ、大切さを改めて感じさせてくれる記事でした。

さて、1月から2月にかけて、サッカーのアジアカップカタール大会が開催されました。ご存知のように日本代表は準々決勝でイラン代表に敗れ、優勝候補筆頭だったにもかかわらずベスト8で敗退しました。しかしその一方で、もう1つの“日本代表”が活躍していたことをご存知でしょうか。

1次リーグのオーストラリアVSインド戦で、日本の山下良美 審判員が、この大会で女性主審として初めて試合を裁いたのです。90分を通して安定感あふれるレフェリングを披露し、各方面から称賛を浴びました。

山下さんは、女性初のプロのレフェリーで、Jリーグで史上初の主審を務めた、女性審判員のパイオニアです。そうした実績が評価され、W杯カタール大会で女性の主審として世界でたった三人だけ選ばれた女性の一人となりました。W杯ではベルギーvsカナダの試合で第4審を担当し、ゲームが荒れないようにコントロールしました。

プロの男子の試合、とくに国際試合を裁くのは簡単なことではありません。レフェリーには、選手に負けないフィジカルや判断力、ピッチ上の選手たちと信頼関係を築くコミュニケーション力などが求められます。今でも山下さんは、毎日のフィジカルトレーニングと勉強を欠かさないそうです。

その彼女がこんなエピソードを語っています。

「まさか自分が審判になるなんて考えもしませんでした。大学生の時、たまたま先輩に声をかけられ、審判をしに連れられて行ったことがきっかけです。」と。そして、「あの時、審判をやってみたことで人生が変わったのです。とにかくやってみることが大切。そうしていろいろ体験してみる中で本当にやりたいことを見つけてほしいのです。挑戦するというとちょっと強い言葉になってしまうので、やってみようかな、くらいの気持ちでいいのです。」と仰っています。

控えめな性格で、中学生の頃は「欲がなさ過ぎる」と怒られたほど無欲なタイプだったそうですが、今や堂々たる立ち振る舞いで世界トップレベルのゲームをコントロールし、世界の大会を経験した第一人者として最前線を走り続けています。

もうすぐ本校を巣立ってゆく3年生のみなさんに、そんな山下さんの「やってみることが大切」というメッセージを贈るとともに、縁を生かすことの大切さを伝えたいと思います。

「数合わせで入ってほしい」と誘われたことで入った陸上部、たまたま先輩に声をかけられ、連れられて行ったことがきっかけで歩んだ審判員の道。

どこに、どんな人との出会いやご縁が待っているかはわからないものですね。そして、そうした出会いやご縁をきっかけにし、それをよりどころとしてその後、精進を重ねて自己実現を図っていく。

私が感銘を受け、大切にしているお話の中に、次のような一節があります。

「人は誰でも無数の縁の中に生きている。  
無数の縁に生まれ、人はその人生を开花させていく。  
大事なものは、与えられた縁をどう生かすかである。」

これから生きる生徒たちには、縁を生かし、常にポジティブな姿勢で自らの可能性を広げながら幸せな人生を歩んでほしいと切に願っています。

# 生徒会本部の新たな“船出”に期待

2月8日、生徒朝会がオンライン形式で行われ、昨年12月に任命された新たな生徒会長さんをはじめ、新生徒会本部役員のみなさんが抱負を述べました。

それぞれが、あいさつ、SDGsの取組、目安箱、行事への取組等、様々なアプローチから思いやビジョンについて語る姿は大変立派でした。

聴いている各学年のフロアでは、巡回で廊下を歩くのはばかられるほどの静寂の中、一人一人が真剣に役員の話に耳を傾けていました。今後の生徒会活動でのリーダーシップに期待しています。



# 人間野中生の活躍です

## 狭山市立小中学校特別支援学級・県立狭山特別支援学校 合同作品展

2月2日～5日、入曽地域交流センターで標記の作品展が開催されました。本校のなないろ学級も出展しましたが、メインの作品は「ちぎり絵」。長い期間をかけてみんなで地道に取り組んできた力作です。当日、展示されていたすべての作品の中でも最大級のもので、



会場の中でひとときわ目を引いていました。これまでのなないろ学級のみなさんの努力に敬意を表します。作品の制作、本当にお疲れさまでした。

## 自分たちの手でまちを美しく

2月14日朝、まだ厳しい冷え込みが続く中ではありましたが、アダプト・プログラム（まち美化プログラム）として、環境保全委員会が中心となり、学校内外の美化活動が実施されました。委員さんたちは校門から西武線のアンダーパスを経て人間野小学校に至る道の美化を行ったほか、正門付近の側溝にたまった落ち葉や泥の除去作業等に従事しました。登校時に通学路に落ちているゴミを拾ってくるなど、活動に加わってくれた生徒たちもいました。委員会の動きが、今後、さらに多くの生徒たちに広まることを期待しています。



		3月		部活動	
日		朝	放		
1	金	県公立高校入学候補者発表 なないろ校外学習（上野） 1年生読み聞かせ	○	○	
2	土		○	○	
3	日		○	○	
4	月	県公立高校追検査	○	×	
5	火	学校朝会	○	○	
6	水	県公立高校追検査発表	○	○	
7	木		○	○	
8	金	専門委員会 3年生読み聞かせ	○	×	
9	土		○	○	
10	日		○	○	
11	月		○	×	
12	火	生徒朝会 卒業イベント 卒業式予行	○	○	
13	水	3年給食終了	○	○	
14	木	卒業式準備	○	×	
15	金	卒業証書授与式 給食なし	×	×	
16	土		○	○	
17	日		○	○	
18	月		×	×	
19	火	生徒朝会	×	×	
20	水	春分の日	○	○	
21	木		×	○	
22	金	給食終了	×	○	
23	土		○	○	
24	日	吹奏楽部定期演奏会 13:00～体育館	○	○	
25	月	大掃除	×	○	
26	火	修了式	×	×	
27	水		○	○	
28	木		○	○	
29	金		○	○	
30	土		○	○	
31	日		○	○	